

重要課題の解決を通じたSDGsへの貢献

日本製紙グループは、「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、2050年を展望し、企業の社会的責任を果たす活動の充実を図ることにより、社会・環境の持続可能性と企業の将来にわたる成長を、ともに追求するサステナビリティ経営を推進しています。当社グループが目指す「世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献します」との企業グループ理念は、「誰も

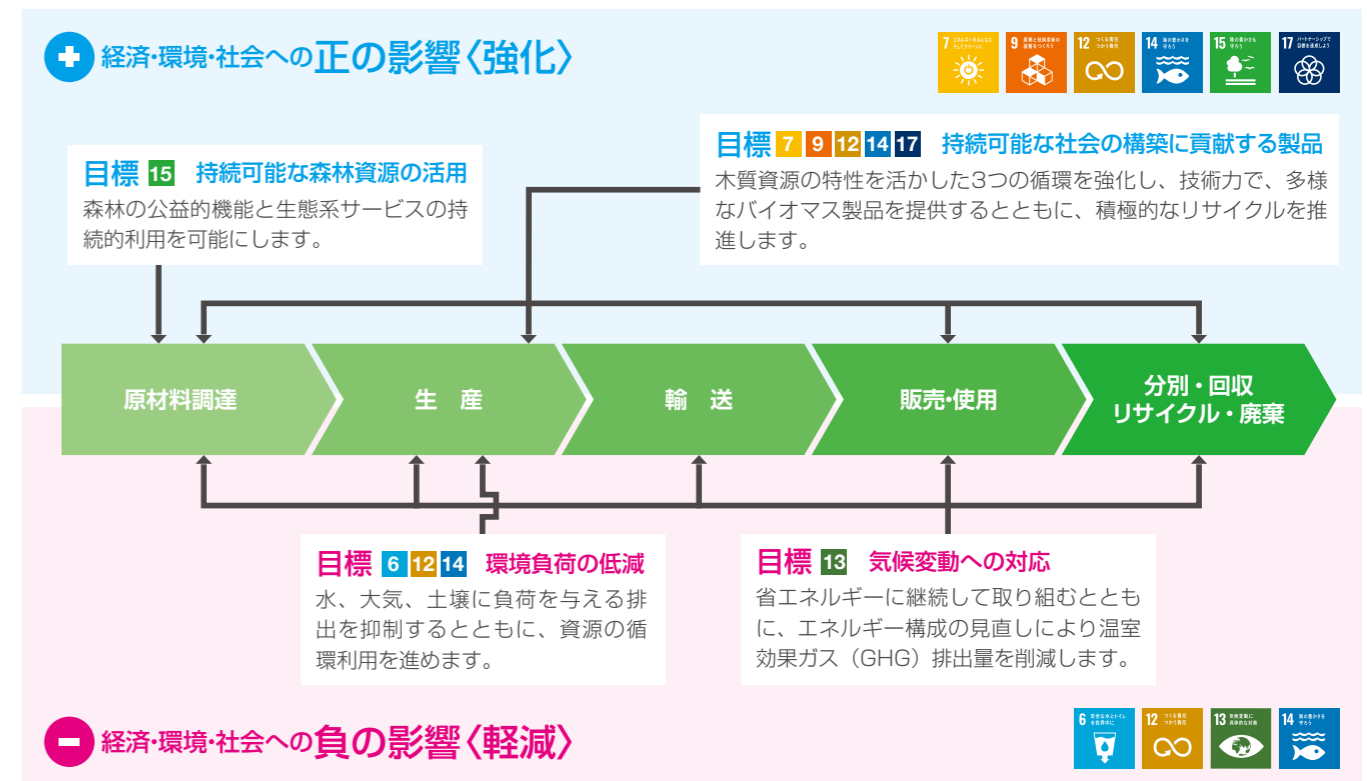
取り残さない」とするSDGsの理念に調和します。当社グループは、サステナビリティ経営を推進することにより、企業グループ理念を実現するために掲げた「目指す企業像」の4要件を満たす活動テーマを重要課題として取り組んでいきます。これらの重要課題の解決に向けた取り組みを通じて、2030年に向けて持続可能な社会の構築を目指すSDGsの達成に貢献していきます。

当社グループは、バリューチェーンの各段階におけるSDGsに与える影響を整理しています。それらは、当社グループの理念を実現するための重要課題に関わるSDGsと重なります。今後も、正の影響を強化し、負の影響の軽減に努めていきます。

重要課題が貢献するSDGs








目指す企業像	重要課題とSDGs
1 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に寄与する	バリューチェーンを通じた ・気候変動問題への対応 ・持続可能な森林資源の活用 ・生物多様性の保全 ・資源循環の推進 ・環境負荷の低減 ・人権の尊重     
2 お客様のニーズに的確に応える	・社会環境の変化への対応 ・製品の安定供給・安全性向上     
3 社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む	・多様な働き方の実現 ・多様な人材の活躍 ・労働安全衛生の推進    
4 安定して利益を生み出し社会に還元する	上記1、2、3の取り組みに加えて ・ガバナンスの充実 ・ステークホルダーとの対話 ・地域・社会との共生  

バリューチェーンにおけるSDGsへの正と負の影響



当社の独自性を活かすSDGsへの貢献 セルロースナノファイバー（CNF）

当社は、木の繊維を利用したバイオマス素材、CNFの製造技術を開発し、幅広い用途で実用化を進めています。このことを通じて、「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、SDGsに具体的に貢献していきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・CNFは、植物由来の素材として、多様な機能を有しています。当社は、ユーザーとのパートナーシップにより、CNFの多様な特性を発揮する用途開発を進めています。 ・自動車の軽量化を目指す環境省 NCV プロジェクトに当社強化樹脂材料が使用され、サンプル提供による用途拡大を進めています。 ・CNFの早期事業化を図るNEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）助成事業に参画し、宇部興産株式会社や住友ゴム工業株式会社等のメーカーとともに用途開発を進めています。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な管理を行っている森林から木質資源を調達しています。 	
 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産・廃棄に関わる環境負荷の少ないバイオマス素材です。 ・食品に添加すると保水性を維持し、賞味可能な期間を延ばす効果が得られます（フードロス軽減）。 ・CNF強化樹脂はリサイクル性に優れ、廃棄物削減が期待できます。 	持続可能な社会の構築に貢献する製品 
	<ul style="list-style-type: none"> ・化石由来の添加剤からの置き換えが可能です。 ・樹脂に添加することにより強度向上・軽量化を図ることができ、CO₂排出量削減が期待できます。 	